

修士論文執筆要項（縦書き）

一、全体の構成

ワープロまたは手書きで作成すること。

(イ) 表題・副題（邦文および英文）

※必要ならば副題をつけること。副題はダッシュ（—）で最初と最後を括る。

(ロ) 執筆者名（邦文および英文）

(ハ) 目次（章、節、項）

(ニ) 本文（ワープロの場合は、A4判28字×25行の2段組、文字サイズは10.5ポイント程度、手書きの場合は、400字詰め原稿用紙を使用すること）

(ホ) 注

(ヘ) 参考文献

二、本文の構成

(一) 章・節などの構成の項目分けに用いる番号（大項目、小項目）

一 二 …… ↓ 一、 二、 …… ↓ (一) (二) …… ↓ ① ② ……

(例)

一 章のタイトル〔章は大項目に相当します。〕

一、節のタイトル〔節は中項目に相当します。〕

(一) 項のタイトル〔項は小項目または小節に相当します。〕

① 目のタイトル〔目は下位の項目または下位の小節に相当します。〕

(二) 箇条書きの例

(イ) ……

(ロ) ……

(あ) ……

(い) ……

教養デザイン研究科
二〇一〇年十一月二十四日改訂

三、本文

(一) 縦書きの句読点は「、」。

(二) 外国の国名、地名、人名などは、漢字による表記が慣例となっている場合（東アジアの中華人民共和国や大韓民国など）を除き、原則としてカタカナ書きにする。なお、一般化していない固有の名称（地名、人名、機関名、会社名など）は、最初に限りその原語（ただし、ローマ字を通常使用しない言語の場合には、そのローマ字化したもの）をかつこ内に付記する。ローマナイゼーションの方式は必ずしも統一しない。

(例)

タンダン (Purushotamdas Tandan) は……。タンダンの主張によれば……。

アジア太平洋経済社会委員会 (Economic and Social Commission for Asia and the Pacific 略称 ESCAP) が……。ESCAP は……。

カオプラ村 (Tambon Khaopra) には……。カオプラ村の人口は……。

(三) 外来語、外国（中国を除く）の度量衡および貨幣の単位は、カタカナ書きにする。

(例) コーヒー、ガラス、メートル、トン、ドル、パーセント、ヘクター。

ただし、図表では、一般的な単位は記号 (m, g, t など) を用いる。中国、韓国などの歴史的な度量衡・貨幣の単位については、漢字書きも可。

(四) 数字は原則として漢数字を使う。ただし、本文中では位取り区切り記号（を）を用いず、万以上の数字には万、億、兆などを用いること。また、図表番号はアラビア数字を使う。

概数の場合は、十数人、数十年などとする。

(例) 二十三億五〇〇万円、一万二〇〇〇人、第二次五カ年計画、〇〜五歳、表 1

(五) 年は西暦を使用する。特別の暦法による暦（例：イスラーム暦、旧暦、元号）を使用する場合には西暦年を「」で付記すること。初出では、一九〇〇年、二〇一〇年とし、以降は一九または二〇は略す。

(六) 年度の表示には斜線を用いる。継続年次の場合は（〜）を用いること。

(例) 一九七〇／七一会計年度 一九七〇〜七五年

四、図・グラフ・写真・表

図・グラフ・写真・表には、それぞれ通し番号とキャプションをつけてください。

図・グラフ・写真のタイトルは下に、表のタイトルは上に書いてください。

出典に関しては、①図・グラフ・写真の場合にはタイトルの下に、②表の場合には、表の下（欄外）に記入すること。出典の書き方に関して

は、参考文献の書き方に準じます。また、図表番号及び出典頁の表記については、アラビア数字を用いてください。注記が必要な場合には、(出典)の上に番号を付して記載してください。

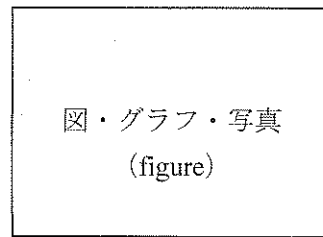


図 1. ○○○○ (●●藏, 撮影)

- (注) 1.....
 2.....
 3.....
 (出典)

表 1. ××××

- (注)
 (出典)

五、英文の表題 (・副題) および執筆者名

英文の表題 (・副題) および執筆者名を記入した用紙を、所定の論文用「扉」の次頁に綴じてください。論文タイトルの各単語の頭文字は大文字、2文字目以下小文字。ただし、冠詞、接続詞、前置詞はすべて小文字。執筆者名は、「姓、名」の順で表記し、姓はすべて大文字、名は頭文字のみ大文字、2文字目以下小文字。

六、注の書き方

(一) 注は本文の該当箇所にアラビア数字の通し番号 (1) (2) ... を用いて示し、論文の最後に「注」の項目を作つてまとめて記載してください。

注の番号は、該当箇所の右下付きで印字してください。

(例) 明治大学和泉キャンパスは、⁽¹⁾.....⁽²⁾である

(二) 出典を示す注記(出典注・引用先の明記)の場合は、著者名(訳者名)『書名』(刊行年、引用・参照ページ)とする。左記を参照のこと。

例 (一)の論点については、シルレル(中村三郎訳)『詩の面白さ』(二〇一〇、三〇―四〇頁)による。

七、参考文献リストについて

参考文献は、「注」の後に「参考文献」の項目を作つてまとめて記載してください。また、作成に当たっては、和文とそれ以外の文献に以外に分けてください。

(一) 和文参考文献の表記法

〈雑誌論文〉

著者名「論文タイトル」、『掲載雑誌名』巻号数、西暦年月、始頁・終頁

(例) 柳田国男「女の力」、『国文学雑誌』第三〇巻一〇号、一九〇〇年九月、五九・七〇頁

〈単行本〉

著者または編者名『書名』、発行所名、西暦年

(例) 明治太郎『巫女と神道』、東京出版、二〇〇五年

〈訳本〉

著者名(訳者名)『書名』、発行所名、西暦年

(例) シルレル(中村三郎訳)『詩の面白さ』、朝日書院、二〇一〇年

〈未公刊物(内部資料、学位論文等)〉

著者、印刷年、執筆者、「論文名・資料名」、印刷元(提出先)の順とする。

〈文書〉

執筆者、作成年、文書名、所蔵機関の順とする。

(例) 久保田関東州在勤武官「九二五」上海「於ケル罷業ニ関スル件」大正「四年」二月「二十三日」(外務省記録「中国ニ於ケル労働

争議関係雑件・上海ノ部」(I・四・四・〇・三・一))

〈インタビュー、聞き取り調査〉

引用回数がない場合は注に「いつ、どこで、誰が、誰に」聞いたのか説明書きを入れ、リストに載せる必要はない。ただし頻繁に引用するものについてはリストに載せ、本文、注では聴取者ないし被聴取者名と聴取した年を記述する。

(例) 田中(一九九八)(本文)

田中一郎一九九八「一九九八年二月一日、〇〇社広報室にて行った筆者(田中)による〇〇社へのインタビュー」(リスト)

(二) 欧文参考文献の表記法

著者名は、「姓、(カンマ)名」の順で表記し、姓はすべて大文字、名は頭文字のみ大文字、2文字目以下小文字。論文タイトルの前には:(コロン)を置き、全体を二重引用符でくくる。各単語の頭文字は大文字、2文字目以下小文字。ただし、冠詞、接続詞、前置詞はすべて小文字。

(例) YAMAIZUMI, Susumu: "Kyôyô(Culture) and the Japanese Society"

また、雑誌・論文集・単行本・会議録のタイトルは、全てイタリック体にしてください。

〈雑誌論文や論文集収録論文〉

著者名：論文タイトル、雑誌タイトル、(必要な場合は発行所と発行地)、巻号数、西暦年、始頁-終頁

著者名：論文タイトル、編者名：論文集タイトル、発行所名(必要な場合は発行地)、西暦年、始頁-終頁

(例) - DAMASIO, Antonio, TRANEL, Daniel, and DAMASIO, Hanna: "Face Agnosia and the Neural Substrates of Memory," *Annual Review of Neuroscience*, 13, 1990, pp.89-109.

- HINRIKKA, Jaakko: "A Discourse on Descartes's Method," in HOOKER, Michael (ed.): *Descartes: Critical and Interpretive Essays*, The Johns Hopkins Univ. Pr., Baltimore and London, 1978, pp.74-88.

〈単行本〉

著者または編者名：タイトル、発行所(必要な場合は発行地)、西暦年

(例) - DICKENS, Charles: *Hard Times*, The Modern Library, New York, 2001.

- SORELL, Tom (ed.): *The Rise of Modern Philosophy: The Tension between the New and Traditional Philosophies from Machiavelli to Leibniz*, Oxford Univ. Pr., 1995.

〈国際会議録からの引用〉

著者名：論文タイトル、会議録タイトル、開催地(国)、開催期間(年月日)、始頁-終頁

(例) - SAKAI, K., KATAYAMA, T., WADA, S., and OIWA, K.: "Perspective Reversal Caused by Chaotic Switching in PDP Schema Model," in *Proceedings of the 1993 IEEE International Conference on Neural Network*, San Francisco, March 28-April 1, 1993, Vol.3, pp.1938-1943.

〈新聞・雑誌などの場合〉

個々の発行年・月・日をリストに明示する必要はありません。

新聞名、雑誌名などを列挙してください。

(三) インターネットの表記法

当該ページ URL

サイト名、該当ページの管理者名もしくは著作権名、閲覧年月日

(例) <http://www.asahi.com/edu/lifelong/K2001051400355.html>
『Asahi.com』朝日新聞社、二〇〇一年五月二〇日閲覧)

(四) 文書(外交文書、法律条文等)の場合

執筆者(作成機関)、作成年、文書名、所蔵機関を表記する。法律・法案名はイタリック体にするか下線をひく。

(例) United States Educational Foundation for Egypt 1951. "Annual Program Proposal, 1952-53." U.S. Department of State,

Washington, D.C.Mimeographed.

Cooke, H.B.S. n.d. "South African Pleistocene Mammals in the University of California Collections." Typewritten.

U.S.House 1985. *Food Security Act of 1985*. 99th Cong., 1st sess., H.R.2100.

□上記の例は、本文中ではそれぞれ U.S.Educational Foundation for Egypt(1951,28) Cooke(n.d.,4-7) U.S.House(1985) のように表記する。法律名は本文中で (*Food Security Act of 1985*) と表記してよい。

(五) 政府刊行物 (年鑑等)

国家統計局総合司編 1985『中国城市統計年鑑 1985』北京 中国建築工業出版社

U.S., Dept. of State 1954. *Foreign Relations of the United States, 1943*. Washington, D.C.: U.S.G.P.O.

□本文中では国家統計局(1985) U.S. Dept. of State(1954)とするか、刊行物名を出して『中国城市統計年鑑 1985』 (*Foreign Relations of the United States 1943*) または (*FRUS 1943*) と表記する。後者の場合、リストでは以下のように表記する。

『中国城市統計年鑑 1985』 国家統計局総合司編 北京 中国建築工業出版社

Foreign Relations of the United States, 1943. U.S., Dept. of State, Washington, D.C.: U.S.G.P.O.

八、論文要旨

修士論文とは別に、三〇〇〇字程度で添付する(一)。

九、目次について

作成に当たっては、以下に注意してください。

(一) 目次は、章、節、項までとし、項の下「目」までは目次に反映させる必要はない。

(二) 本文のあと、「注記」「参考文献」についても目次に反映すること。

目次

はじめに	1
一 アジアの中間層論の台頭の背景	8
一、アジア中間層の種類	8
(一) 国家論アプローチ	12
(二) マルクス主義アプローチ	12
(三) 第三のアプローチ	15
二、	
三、	
二一九八〇年代のアジア中間層論と社会構造変化	
一、	
二、	
三、	
おわりに	
注	
参考文献	